**令和５年度「東北地域中心市街地及び商店街関連セミナー」参加申込書**

**○申込先：東北経済産業局　産業部　商業・流通サービス産業課　宛て**

**Email：**[**bzl-shougyouchukatu-tohoku@meti.go.jp**](mailto:bzl-shougyouchukatu-tohoku@meti.go.jp)**※メールにてお申込みください。**

**○申込期限：*令和５年１０月２７日（金曜日）※締切厳守***

|  |  |
| --- | --- |
| 企業・団体名 |  |
| 住所・所在地 |  |
| 電話番号 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 所属　／　役職 | メールアドレス | まちづくり関連の  経験年数（参考） | グループワークの希望：A～Eの希望順に1~3の番号をご記入ください。 | | | | | 個別  相談会希望 |
| ／　年齢 | 携帯電話番号 | A | B | C | D | E |
| **例** | **○○課／係員** | **bzl-shougyouchukatu-tohoku@meti.go.jp** | **5** |  | **1** | **3** | **2** |  | **①** |
| **（とうほく　たろう）**  **東北　太郎　／３５** | **090-○○○○-□□□□** |
| **１** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
| **２** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
| **3** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |

注）グループ討議の申込状況によっては、グループ人数の平準化により、希望に沿えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ 応募多数で定員を超えた場合には、人数調整をお願いする場合がございます。

※ 申込み後のキャンセルは、東北経済産業局　商業・流通サービス産業課 宛てにメールにてご連絡ください。

※ グループ討議に関して、事前課題をメールにて送信させていただく場合がございます。

※ 個人情報については、本セミナーに係る連絡事務とセミナー当日の名簿にのみ活用させていただきます。

**グループワーク：講師の方々とワーク内容の御紹介　～**

**Aグループ：「まちづくりセミナー」企画立案のカギ**

○**リーダー︓下田 孝志氏（山形まちづくり株式会社／山形県山形市／内閣府任命地域活性化伝道師）**

* 山形まちづくり株式会社常務取締役。七日町エリアの魅力や価値の維持・向上を図る事業や活動をマネジメント。七日町商店街振興組合事務局長も担っており、中心市街地の活性化を牽引している。

○概 　要：各地域において、「まちづくり」や「地域活性化」をテーマとしたセミナー（講演会やワークショップ等を含む）が企画開催されています。実際、その参加状況や成果として、その後の取り組みの変化に繋がっているでしょうか？参加者の各地域における開催状況等をお聞かせいただきながら、共通する課題や企画立案に際に押さえておきたい要点（カギ）を整理していきます。

**Bグループ：「まちあるき企画」「まちづくりイベント」立案ワークショップ**

○**リーダー︓柳沢 拓哉氏（株式会社まちづく八戸／青森県八戸市）**

* 八戸市中心市街地の公立複合化施設「八戸ポータルミュージアムはっち」の準備、立ち上げ時より、企画担当専門職を11年務め、地域資源を活用し商店街との連携事業等に取り組む。その後、株式会社まちづくり八戸に移籍し、企画開発に携わる。

○概　　要：まちの様子に気づくきっかけでもあり、まちづくりに入る最初の一歩や 携わる人の入口を広げる効果も期待される「まちあるき」。どんな人にどんな体験をして欲しいのかの想定で、様々な内容が考えられます。このグループでは、まちあるき企画を立案し、ロールプレイし、実際にそれぞれのまちにとって有用な内容について検討します。

**Cグループ：それぞれの立場から見える「まちづくり」を考えてみよう**

○**リーダー︓苅谷 智大氏（株式会社街づくりまんぼう／宮城県石巻市）**

* 株式会社街づくりまんぼうの街づくり推進課長として、宮城県石巻市の中心市街地のマスタープランづくり、商店街活性化、マンガを活かしたまちづくり、拠点作り事業などに携わる。

○概　　要：行政職員、商店主、まちづくり会社、地域住民。それぞれが考えるまちづくりはそれぞれ違うはず。同じエリアで一緒にま

ちづくりをするには、お互いがどんな「まち」を想像しているかを知ることが必要。活動する場所は違えど、どんな「まち」を想像しているか考えます。

**Dグループ：関係人口を増やす実践講座**

○**リーダー︓古川 直文氏（株式会社楽市白河／福島県白河市／内閣任命地域活性化伝道師）**

* 株式会社楽市白河常勤取締役であり運営責任者として活動。公共施設の管理運営、商業施設の建設・管理運営、マンション建設・管理、宅配弁当事業の運営などを手掛けている。

○概　　要：フィンランド生まれのニュースポーツ「モルック」のルール説明から大会運営まで完全実践版として習得していただきます。

参加者自ら「モルック」を体験していただき、すぐにまちづくりにつなげる実践講座です。

**Eグループ：「妄想』からのまちづくりでの活性化法を実践体験**

○**リーダー︓伊藤 大海氏（（独）中小機構　中心市街地サポートアドバイザー／中小企業診断士）**

* 2002年よりまちづくりコンサルタントとして独立。主に支援機関を通し日本各地での中心市街地活性化プロジェクトの支援実績をもち、現在は愛知県半田市中心市街地活性化市長特任顧問もつとめるほか、中小企業診断士として副業・創業人材育成など小規模事業者支援や支援者人材育成にも携わる。

○概　　要：コロナ禍を経て、これまでのルール、ライフスタイルが変わっている時代。その中で、より主体的で多様なまちづくりのエリア

を設定して展開していくエリアマネジメントが求められています。 このグループでは、今回の舞台、白河市の本町北裏地

区を題材に、このエリアの妄想未来図を検討、描いていきながら、制約にとらわれないまちづくり発想の実践法をワーク

ショップで学びます。

**～コーディネーター及び当局＆中小機構による個別相談会～**

　２日目の個別相談会を希望される方は下記よりお選びください。ご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。

①：コーディネーターによるまちづくりよろず相談（対応者：下田氏　／　古川氏　／　苅谷氏・柳沢氏）

②：東北局＆中小機構による支援制度相談（対応者：東北経済産業局・中小企業基盤整備機構）